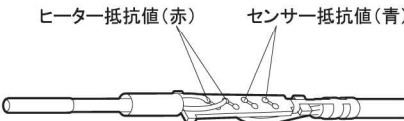
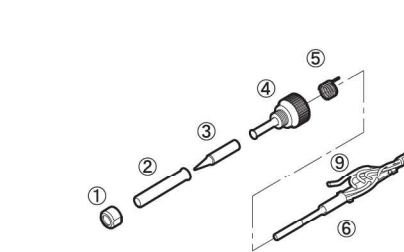


5. メンテナンス

接続コードのプラグをはずし、こて部のピン間の抵抗値を測定してください。

a、bの値が表の数値と異なる場合は、ヒーター（センサー）が接続コードを交換してください。cの値が表の数値を超える場合は右図のようにサンドペーパーかスチールワールで軽くこすり、酸化物を取り除いてください。

1. ヒーター/センサー切れ

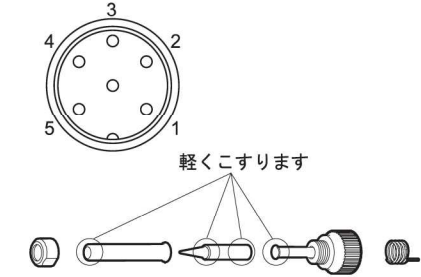


2. 接続コードの断線

接続コードを調べるには右に示す2通りの方法があります。

3. ヒューズ交換

a. ピン4-5間(ヒーター)	2.5～3.5Ω (常温時)
b. ピン1-2間(センサー)	43～58Ω
c. ピン3-こて先	2Ω 以下



● 分解の仕方

1. 袋ナット①を左に回し、保護パイプ②とこて先③をとりはずします。
2. ニップル④を左に回して取りはずします。
3. こて先側にヒーター⑥とコード⑦を引っ張り、グリップ⑧からはずします。
4. アーススプリング⑤をターミナル⑨のスリーブより抜き取ります。

※ヒーターは常温時に測定してください。

1. ヒーター抵抗値(赤)2.5～3.5Ω
 2. センサー抵抗値(青)43～58Ω
- 抵抗値が異常な場合は、ヒーターを交換してください。(交換方法は交換部品付属の説明書を参照)

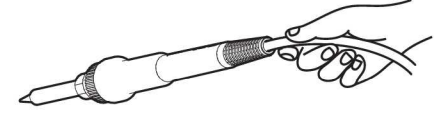
交換後

- ①ピン4とピン1またはピン2の間/ピン5とピン1またはピン2の間の抵抗値が∞で無い場合、ヒーターとセンサーが接触しています。基板を傷める原因となりますので、接触しないよう組み立ててください。
- ②リード線がねじれていないか、アーススプリングは正しく接続されているか確認するため“a” “b” “c”の抵抗値を測定してください。

1. 温度を450℃に設定し、接続コードを様々な角度からコードブッシュの部分も含め、ねじったり曲げる等します。通電ランプが点滅する場合、コードを交換してください。

⚠ 注意

接続コードが正常でも、450℃に達すると点滅します。



2. プラグのピンとターミナルリード線の間の抵抗値を測定します。
ピン1-赤 ピン2-青 ピン3-緑 ピン4-白 ピン5-黒
抵抗値:0Ω
0Ωより大きい、または∞の場合、交換してください。

ヒューズ交換の際は「基板/ヒューズ用」ごと交換してください(「7.部品リスト」の図を参照)

6. トラブル発生時に

⚠ 警 告
● 内部点検や部品交換の際、電源プラグは必ず抜いてください。感電の恐れがあります。
● 電源コードが断線した場合は危険を避けるため、メーカーもしくはサービス代理店、同等の資格のある人により交換される必要があります。

- 電源スイッチを入れても動作しない。

点検： 電源コードまたは接続プラグが外れていませんか。
対処： 接続する。
点検： ヒューズが切れていませんか。
対処： なぜヒューズが切れたのかの原因を確認した後、ヒューズを交換してください。
a. こて部の中でショートしていませんか。
b. アーススプリングがヒーターに接触していませんか。
c. ヒーターリード線がねじれたり短絡したりしていませんか。
原因が分からない場合にも、交換してください。再びヒューズが切れる場合には、修理のため本体ごと送り返してください。

- ヒーター通電ランプは点灯しているが、こて先が熱くならない。

点検： 接続コードが断線していませんか。ヒーター/センサーは切れていませんか。
対処： 本書の接続コードの断線およびヒーター/センサー切れの調べ方の項を参照してください。

- こて先が熱くなったりならなかったりする。

点検： 接続コードが断線していませんか。
対処： 接続コード断線の調べ方の項を参照してください。

- こて先にはんだが乗らない。

点検： こて先の設定温度が高すぎませんか。
対処： 適正温度に設定してください。
点検： こて先に酸化物が付着していませんか。
対処： 酸化物を取り除いてください。(こて先のメンテナンスの項を参照してください。)

- こて先温度が低すぎる。

点検： こて先に酸化物が付着していませんか。
対処： 酸化物を取り除いてください。(こて先のメンテナンスの項を参照してください。)
点検： 温度校正はあっていますか。
対処： 正しく校正してください。

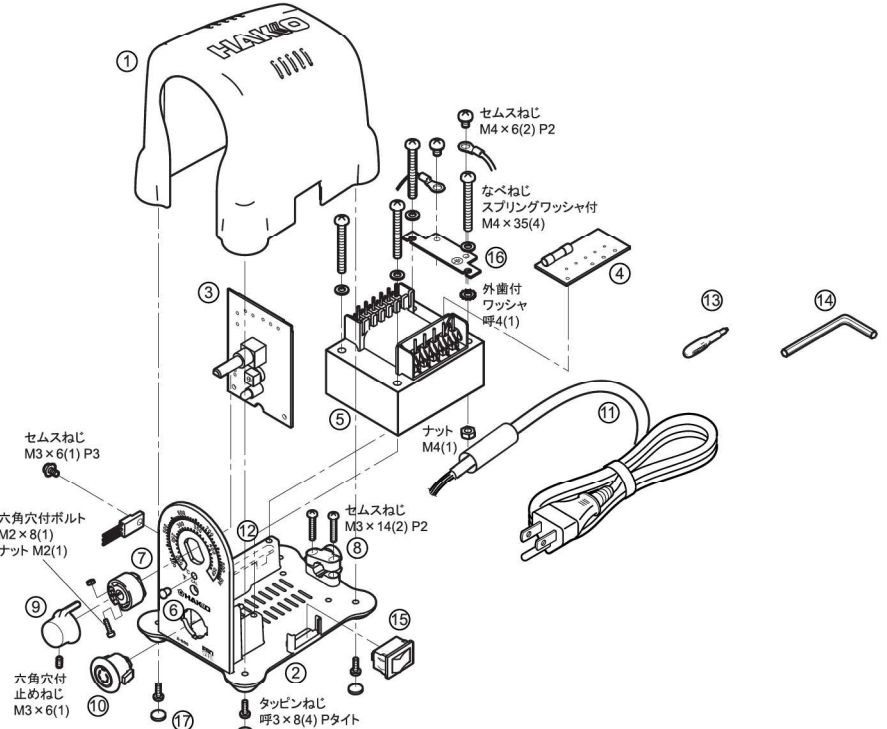
- こて先がはずれない。

点検： こて先にヒーターが焼きついていませんか。またこて先劣化によって膨張していませんか。
対処： こて先とヒーターを交換してください。

- 希望の設定温度がでない。

点検： 温度校正はあっていますか。
対処： 正しく校正してください。

7. 部品リスト(ステーション)

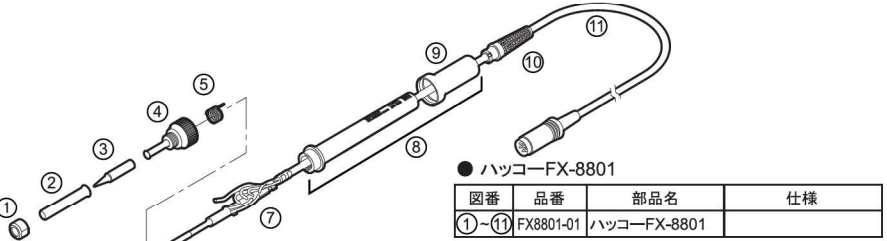


● ハッコーFX-888ステーション

図番	品番	部品名	仕様
①	B3450	ケース上/BY	
	B3451	ケース上/BK	
	B3452	ケース上/SV	
	B3453	ケース上/RD	
②	B3454	シャーシ/イエロー	BY用
	B3455	シャーシ/グレー	BK、SV、RD用
③	B3456	基板/制御用	
④	B3457	基板/ヒューズ用	ヒューズ、ゴム足付 100-120V
⑤	B3458	トランス	100-110V
⑥	B3459	CAL用フタ	
⑦	B3460	ノブマウント	

図番	品番	部品名	仕様
⑧	B3461	コードストッパー	
⑨	B3462	ツマミ	六角穴付止めねじ付
⑩	B3463	レセプタクル	
⑪	B3464	電源コード/ゴム2極接地型	チューブ付
⑫	B3465	ドライバーホルダー	
⑬	B3466	CAL調整用ドライバー	
⑭	B2017	六角レンチ	
⑮	B2852	スイッチ	
⑯	B2227	アースプレート	
⑰	B2405	ゴム足	4個入り

7. 部品リスト(こて・こて台)



● ハッコーFX-8801

図番	品番	部品名	仕様
①～⑪	FX8801-01	ハッコーFX-8801	
①	B1785	袋ナット	
②	B3469	保護パイプ	
③		こて先	「8.こて先の種類」参照
④	B2022	ニップル	
⑤	B2032	アーススプリング	
⑥	A1560	ヒーター	
⑦	B2028	ターミナル	コードストッパー付
⑧	B3470	グリップ	断熱カバー付
⑨	B3471	断熱カバー	
⑩	B3467	コードブッシュ	
⑪	B3468	こて接続コード	

● こて台

図番	品番	部品名	仕様
①～⑤	FH800-01BY	ハッコーFH-800	ブルー・イエロー
①～⑤	FH800-01SV	ハッコーFH-800	シルバー

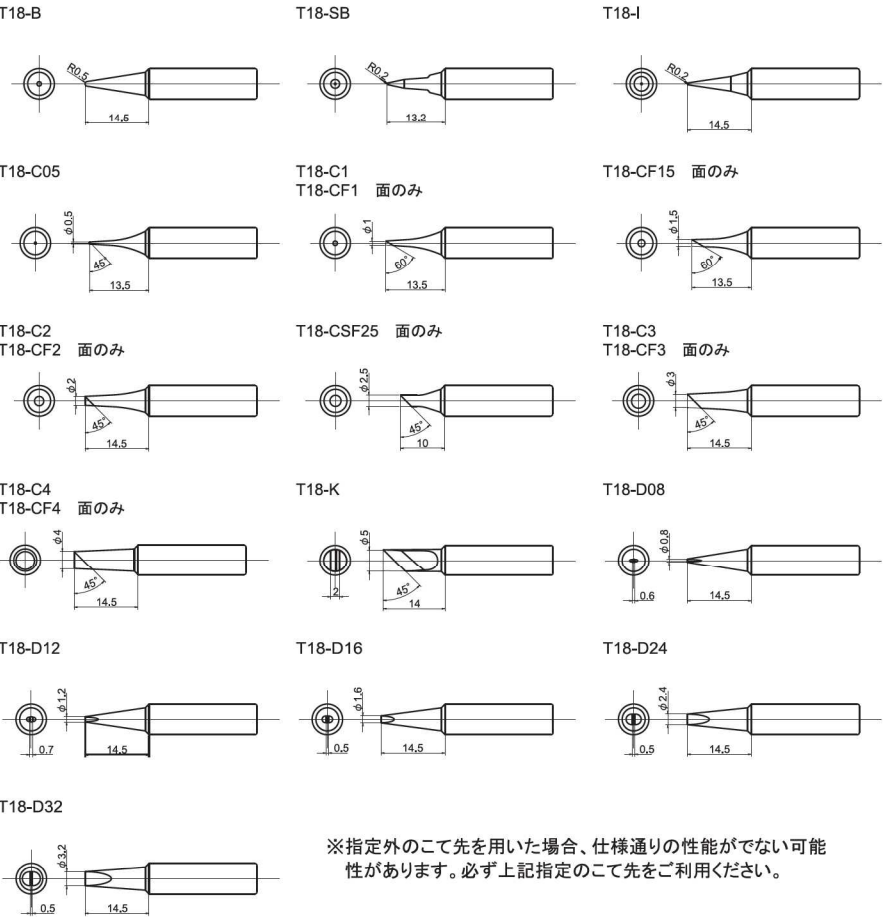
● こて台パーツ

図番	品番	部品名	仕様
①	A1559	クリーニングスポンジ	
②	B3472	こて台本体/Pキャップ付	BY ゴム足付
	B3473	こて台本体/Pキャップ付	SV ゴム足付
③	B3474	マウスキャップ	
④	B3475	肩受け	ゴム足付
⑤	B3476	スライドロック	

● こて台オプション

図番	品番	部品名	仕様
①	A1561	クリーニングワイヤー	

8. こて先の種類



※指定外のこて先を用いた場合、仕様通りの性能がでない可能性があります。必ず上記指定のこて先をご利用ください。